



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成19年2月期 業績の概況

**割賦購入あっせん部門、融資部門の好調により営業収益は前期比 8.2%の増収
利息返還請求関連費用等の増加により当期純利益は前期比 72.2%の減益**

ポケットカード株式会社(8519)の平成19年2月期の業績は、割賦購入あっせん部門、融資部門の両方が堅調に推移した結果、営業収益は388億29百万円(前期比8.2%増)となりました。一方で利息返還損失に係る監査上の取扱いの公表に伴う引当金の計上などにより、営業利益は63億83百万円(前期比23.4%減)、経常利益は63億77百万円(前期比23.4%減)、当期純利益は12億48百万円(前期比72.2%減)となりました。

収入面では、割賦購入あっせん部門が、伊藤忠エネクス(株)やコーナン商事(株)等の提携先企業での会員拡大に伴う取扱の拡大、各種キャンペーン企画の推進やカード認知度の向上による一般加盟店での取扱の拡大、ガス・電気・携帯電話などの日常型決済等新たなカード利用機会の拡大等により、取扱高は2,118億59百万円(前期比22.9%増)、営業収益は48億24百万円(前期比20.8%増)と大幅に増加しました。また融資部門では、会員基盤の拡大に伴う新規利用者の増加や会員の信用度に応じた機動的な与信枠の設定などにより、流動化を実施した債権を含む融資残高は1,397億90百万円(前期比7.1%増)、営業収益は315億75百万円(前期比7.1%増)と増加し、営業収益全体でも388億29百万円(前期比8.2%増)となりました。

営業費用については、利用率の向上と効率性を重視した会員獲得の推進や業務全般の効率化等によりコスト削減に努めたものの、昨今の利息返還請求の増加及びそれに伴う貸倒関連費用の増加、また利息返還損失に係る監査上の取扱いの公表に伴う引当金の計上などにより、324億46百万円(前期比17.7%増)となりました。

【 単位: 百万円 】

	営業収益	経常利益	当期純利益
平成19年2月期 通期業績	38,829	6,377	1,248
前期比	+8.2%	△23.4%	△72.2%

◆ 伊藤忠エネクス(株)、コーナン商事(株)の提携カードがそれぞれ累計獲得会員数30万件を突破！

平成16年10月、平成17年7月からそれぞれ発行を開始している伊藤忠エネクス、コーナン商事との提携カードへの申込みが、平成19年2月末までに累計会員獲得数がそれぞれ30万件を突破しました。当初計画では共に募集開始後5年間で30万件獲得を予定しており、今回の30万件達成は当初計画を大きく上回るものになります。また会員の利用頻度も高く、月間利用率や初期利用率では当社平均を大きく上回る水準となっております。利用の面でも好調なカードになっております。

伊藤忠グループ企業並びにグループ取引先との提携事業は、伊藤忠エネクス、コーナン商事以外にも、インターネットショッピングサイトのマガシーク(株)との提携カード発行やファミリーマート子会社のファミマクレジット(株)との保証事業など、提携の範囲を拡大しております。今後も当社は伊藤忠グループ並びにグループ取引先との共同事業展開をさらに進展させてまいります。

◆ (株)角川クロスメディア、伊藤忠食品(株)と提携、酒販免許取得など、会員向け物販サービスを拡充！

出版大手(株)角川クロスメディアとの提携によるカード会員限定オンラインショッピングサイト「P select store(ピーセレクトストア)」の開設や、食品卸大手伊藤忠食品(株)との提携による産地直送品・季節限定品のカード会員向け限定販売の開始、酒販免許取得による会員向け酒類販売の開始など、当期はカード会員への物販サービスを開始し、商品提供を拡充いたしました。

今後も様々な企業とのアライアンスにより、カード会員に対し幅広い商品・サービスの提供を行い、お客さま満足度の向上に努めてまいります。

以上